

東北大学大学院情報科学研究科  
「学際的研究プロジェクト」報告

タイトル	ロボットの心理的受容要素の研究
主催者	中野栄二
期日	2003年12月2日
会場	東北大学 大学院情報科学研究科
出席者数	約50名
講師・パネリスト等の氏名・勤務先等	氏名 岩崎 祥一氏（東北大学 教授） 渡部 信一氏（東北大学 教授） 今井 倫太氏（慶応義塾大学 専任講師）
目的	「ロボットを研究することは人を研究することに通じる」としばしば言われます。これまではこのことばはもっぱら、人の機能をロボットで実現するにはどうするか、そのためには人の機能の仕組みを知らねばならない、といった意味に使われることが多かったようです。ところが最近、ロボットを開発する立場以外の研究者がロボットに興味を持つ例が目につきます。それは、人とロボットの関係をさまざまな立場から考察したり、ロボットのもつ効果の適用を考えたりする例です。
内容	本シンポジウムでは、ロボット技術開発以外の立場から、特に広い意味で人とロボットの心理的關係に興味を持つ研究者による先駆的研究成果について講演していただく。
情報科学研究科にとっての意義・貢献度	「情報科学をコンピュータ・サイエンスやシステム科学や数理学などの自然科学の分野だけでなく、人文・社会科学の分野をも包含する分野として形成・発展させるとともに、これらの分野で得られた成果を社会に還元することを目指している」とする情報科学研究科の理念に基づき、ロボットとい工学の分野と心理学の分野が協力して、異なる視点からの意見を交換することはとても意義があり、お互いの分野での今後の研究に対する方向性などを再確認することができ、大変有効であった。